

「学習の 3 段階理論」確認テスト
《学習の 3 段階理論を身に着け、学力の大幅アップを図ろう》

開倫塾 _____ 校 氏名 _____

- Q 1. 「学習の 3 段階理論」とは、「①学習」を「②理解」「③定着」「④応用」の 3 段階に分け、それぞれの段階ごとの効果の上がる学習方法を示したものです
- Q 2. 第 1 段階の「②理解」とは、「⑤うんなるほどと、よくわかる」ことです
- Q 3. 授業は「⑥手を机の上に置き、先生の目と口元を見て一語一句聞き漏らさないように真剣に聴く」こと
- Q 4. テキストや教材を読んでいて、また、テスト終了後、わからないことばがあったら「⑦気持ちが悪い」と思い、「⑧辞書」や各教科の「⑨用語集」、学年別の「⑩参考書」を用いて必ず調べること。調べたことは「⑪ノートに書き写し、その場で覚える」こと
* 「⑫ことばの数」が増えると、「⑬すべての教科の学力の基礎となる『読解力』」が身に着きます
- Q 5. 授業前は、「⑭何がわからないかをはっきりさせてから授業に臨む」ために「⑮予習」をすること
- Q 6. 授業が終わったら、「⑯ノートを整理」しながら、必ずもう一度「⑰教科書」や「⑱問題集」を「⑲勉強し直す、解き直す」こと
- Q 7. 第 2 段階の「③定着」とは、「⑳一度学んだテキストや教材、テストを用いて、次の『定着のための 3 大練習』を行い、『理解』したことをスミからスミまで身に着ける」ことです
- Q 8. 「③定着」のための 3 大練習とは、「㉑音読練習」「㉒書き取り練習」「㉓計算・問題練習」の 3 つの練習です
- Q 9. 最初の「㉑音読練習」とは、「㉔スラスラとよく読めるようになるまで声を出して読めるまでににする」ことです
* できれば、「㉕何も見ないで言えるまでににする」こと。これを「㉖暗唱」といいます

Q 10. 2 番目の「②書き取り練習」とは、「⑦楷書で、書き順も含め正確に書けるまでにする」ことです

＊できれば、「⑧暗唱した内容を何も見ないで書けるまでにする」こと。これを「⑨暗記」といいます

Q 11. 3 番目の「③計算・問題練習」とは、「⑩計算や問題を何回も練習して、計算や問題を見た瞬間に、パッパッパッと、条件反射で正解が出るまでにする」ことです

Q 12. 「④定着」のための 3 大練習は、「⑪不可能を可能にする」と考えます

Q 13. 第 3 段階の「⑤応用」とは、「⑫テストでよい点数が取れる」ことと「⑬社会で役立てることができる」ことです

Q 14. 「⑭テストでよい点数を取るため」には、「⑮過去に出た問題の 5～6 年分」を「⑯ 5～6 回やり直す」こと。特に、「⑰間違えた問題は繰り返しやり直す」こと

＊「⑱間違いノート」や「⑲まとめノート」を作り、「⑳ノートを学び直す」ことがポイントです

Q 15. 「㉑学校と開倫塾のテキストや教材、ノート」は学校を卒業後も「㉒処分」しないで、「㉓折に触れて読み直す」ことが「㉔社会で役立てる」ために役立ちます

Q 16. この他にやったほうがよいことの 1 つ目は、「㉕各教科の教科書で紹介されているような本を、少しずつでも、毎日じっくりと読む」ことです。「㉖大切だと思われることばや文章」を「㉗書き抜き読書ノート」に書き抜き、「㉘繰り返し読んで自分のものにする」こと。「㉙読書」により、「㉚思慮深さ」と「㉛自分を振り返る力」が身に着きます。「㉜すべての教科の学力の基礎となる『読解力』」も身に着きます

Q 17. 2 つ目は、「㉝新聞を毎日読んで世の中の動きを知る」ことです。「㉞気になる記事は切り抜いて『スクラップブック』にのりで貼り付け、繰り返し読む」こと。「㉟新聞を読む」ことにより、「㊱自分で考える力」と「㊲批判的思考能力」が身に着きます。「㉜すべての教科の学力の基礎となる『読解力』」も身に着きます

Q 18. 3 つ目は、以上のことをすべてを行うには「㊳時間」がかかりますので、「㊴自分で時間を管理」して「㊵長時間自己学習」をすることです。開倫塾では「㊶空いている机や椅子」を用いての「㊵長時間自己学習」を奨励しています。ただし、「㊷夜 10 時 30 分以降」は全員帰宅してくださいね。「㊸夜 10 時 30 分以降の居残り勉強」は絶対禁止です。必ずお守りください